

－ 貴重なご意見ありがとうございました。 －

千曲市バイオマスタウン構想(案)に対する意見募集結果

○提出された意見の概要及びそれに対する市の考え方は次のとおりです。

No.	意見の概要	意見に対する市の考え方
1	<p>(1) 事業者の事業計画を基に「バイオマスタウン構想」を策定するのは危険です。</p> <p>(2) 駒ヶ根市の堆肥化事業の対象が給食センターや公共施設から出る残さに留まっているのは、「家庭ゴミから異物ぬきで生ゴミを回収することが難しいこと」や「製造した堆肥や飼料の有料販売が理解されにくいこと」からです。 堆肥や飼料について何よりも詳しく、質を重んじているのは利用者となる農家です。利用する側のことも考え、検討を進めてほしい。</p>	<p>(1) 平成17年9月に農林水産省の公表を受けた「千曲市バイオマスタウン構想」は、「環境保全型農業の普及」と「循環型社会の構築」を基本目標に掲げており、今回のタウン構想見直しに際しても、この基本的な考え方は変わっておりません。 したがって、事業者から提案された事業計画は、当然この基本目標達成に向けて実施されるものであり、ご意見にあるような危険との認識はございません。</p> <p>(2) ご指摘のとおり、生ごみの分別収集には市民の皆さんのご理解とご協力が不可欠であると考えております。このため、生ごみの分別を開始する前には、なるべく小さな単位で説明会を開催し、きめ細かに説明することによりご理解を得てまいります。 また、生産される堆肥についても、ご指摘のとおり、農家に信頼される優良堆肥の生産が大変重要であると考えております。農家が安心して利用できるよう、検討を重ねてまいります。</p>